



津市の獣害対策の取組

平成30年11月

～Vol.25～

農地を全ての鳥獣から守る

多獣種柵の実証実験結果の報告！



多獣種柵設置について

実験前この農地はサル、シカ、イノシシ、小動物、カラス等のあらゆる獣種の被害を受けていました。その対策として、恒久柵を設置し、その上に電気柵を、さらにその上に黒テグスを張り、全獣種対応の多獣種柵とし、その検証を行っています。

- ・対象鳥獣
サル・シカ・イノシシ・小動物
鳥類
- ・設置及び検証開始年度
平成27年度～

メリット

恒久柵において、シカ・イノシシ・小動物と幅広く効果がある。

電気柵においては、サル被害に対して大きな効果がある。

黒テグスにおいては、特に全国で多発しているカラスの被害に対して大きな効果がある。

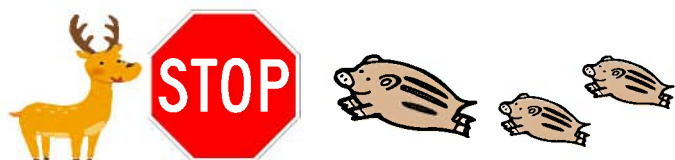
全体の効果としては、気象条件等により、柵に破損等の被害が出ることはあるが、効果としては、小型の鳥類を除いては、ほぼ全獣種からの被害を防ぐことができる。

デメリット

強風・台風時などは鳥用支柱が破損することがある。

断線すると効果は低く、場合によっては漏電することもあり、定期的な管理が必要

小型の鳥類には効果は低い。



* 問い合わせ先 *

農林水産政策課 電話 229-3238
各総合支所